

中学校 3 年

スピーチを聞いて評価しよう

高石市立高石中学校

教科

国語

単元名

評価しながら聞こう

本単元で育む主な情報活用能力

C-STEP3, P-STEP3
K-STEP3, R-STEP3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

「宮崎県のある町役場に勤める方によるスピーチ」について、聞き取った内容や表現の仕方を説得力と関連づけて評価しながら聞くことで、自分の考えや表現に生かしたい点をまとめることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

前時で考えた、「説得力のあるスピーチかどうかを評価するための観点」をミライシードのオクリンクプラスを見ながら振り返り、その観点が「話の内容」と「表現の仕方」のどちらに着目しているのかを分類し、他の人の意見も参考にしながらその観点を元にスピーチを聞いて、自分の考えをまとめる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・オクリンクプラス（ミライシード） ・みんなのボード（ミライシード）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	・前時の学習活動の確認をする。 ・本時のめあて（学習課題）について知る。 本時のめあて：スピーチを評価しながら聞き、自分の考えや表現に生かしたい点をまとめよう。 【写真1】	・オクリンクプラスで、「説得力のあるスピーチかどうかを評価するための観点」をまとめたカードを全員で確認する。その観点が「話の内容」について書かれているものと「表現の仕方」について書かれているものがあることに気付く。
展開 (35分)	・先生から送られたカードを使って、「話の内容や表現の仕方を評価する」の項目にある観点の着目しているところが「話の内容」か「表現の仕方」かに分類する。 【写真2】 ・「宮崎県のある町役場に勤めるかたによるスピーチ」について、聞き取った内容や表現の仕方を評価しながら聞き、気づいたことやわかったことを新しいカードを作ってメモをする。 ・メモをしたカードを見ながら、共感したり納得したりしたこと、表現の仕方や話し方についてよいと思ったところ、自分の表現に生かしたい工夫等をまとめる。 【写真3】 ・まとめたカードをみんなのボードに送って、他の人の意見を確認する。	・メモをできる分量は人によって異なるので、メモをしたカードを見せ合いながら、自然と周りに相談する学習活動につながる。 ・まとめ方がわからない生徒への手だてとして、みんなのボードを使うことで、他者のカードをヒントにして、自分のカードの作成をスムーズに行うことができた。
まとめ (5分)	・今日の授業でできたカードを全てくっつけて、提出ボックスに送る。 ・提出ボックス内にある他の生徒のカードも見ながら、本時の振り返りを行う。	・提出までできるので、評価もオクリンクプラス内ででき、生徒にもフィードバックできた。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】本時のめあて・学習課題について知る。 【写真2】評価の観点を「話の内容」か「表現の仕方」かに分類する。 【写真3】メモをしたカードを見ながらまとめる。

児童生徒の反応や変容

自分で考えたことをまとめる力に課題がある生徒には、みんなのボードから他の人の意見も見参考になるので、課題を進める上での手だてとなっていた。また、一度提出した課題も、他の人の意見でよいと思ったら追記して再提出してもよいと伝えているので、早く課題ができた生徒も他の人のカードを見て、考えを深めていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・オクリンクプラスを使うと、提出・評価までスムーズにできる。また、他者と一緒にスライドを作り、多様な考えを出させ、協働作業ツールのような使い方もできるので、より協働的な学びを進める上で、発展的な課題に取り組ませるのにも向いている。